

町の復興部会報告書(概要)

町の復興部会は、「町の復興」に対応する形で、以下の事項を中心に検討を行いました。部会は、ワークショップ形式で計3回行いました。

- (1) 「JR双葉駅西側・新市街地ゾーン」の整備イメージについて
- (2) 「JR双葉駅東側・まちなか再生ゾーン」の整備イメージについて
- (3) 双葉町への帰還に向けた課題整理について
- (4) その他、町の復興に関すること

回	開催日時	出席人数	検討内容	主な意見
1	7月21日(木) 13:00~16:00	19名	○部会長及び副部会長の選任 ○ワークショップ「JR双葉駅西側・新市街地ゾーンとJR双葉駅東側・まちなか再生ゾーンの整備方針と整備イメージを考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・一つにまとまったコンパクトなまちづくりが必要である。 ・産業拠点で働く人の住宅をシンボル軸沿いに整備してはどうか。 ・大字単位で泊まれる宿泊施設を整備してはどうか。 ・駅東側にもバランスよく施設を整備してはどうか。 ・駅東側の商店街は残して共存共栄してほしい。 ・土地区画整理を進め、よそからも住んでみたいと思える理想的なまちにしてはどうか。 ・ステーションプラザは交流、コミュニティの場としてそのまま活用してはどうか。 ・駅東の旧国道沿った通りは、元の双葉町の文化やまちなみを少しでも残しておくべきである。 ・産業拠点を動かすために、衣食住ができる施設を整備する必要がある。 ・まちづくりには、「心に残る場所」があることが大切である。
2	9月2日(金) 13:00~16:30	17名	○ワークショップ「JR双葉駅周辺のまちづくりの具体的な取組みについて考えよう」 ▶「駅前交流拠点」と「周辺エリアとの連動・中心としての役割」 ▶「歴史・文化交流拠点」と「まちなかの景観保全と賑わい再生+空き地・空き家対策の推進」 ▶「沿道交流拠点」と「幹線道路沿	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東西の自由通路の整備が必要ではないか。 ・通路に商業施設を整備してはどうか。 ・駅から各エリアへのバス、タクシーの運行が必要である。 ・常磐線開通を踏まえ、JR東日本とのまちづくりを進める必要があるのではないか。 ・町民グラウンドは思い出の多い場所。 ・新生双葉町を目指すならば、若い人が帰ってこられるようなまちづくりを進める必要がある。 ・町民の協力により空き地・空き家の調査を実施してはどうか。 ・桜の木は町のシンボル。桜並木の保存を望む。

			いの用地の有効活用」	<ul style="list-style-type: none"> ・国道6号線の4車線化。 ・機能を複合化した道の駅の整備をすすめてはどうか。
3	10月12日(水) 13:00~16:10	14名	<p>○ワークショップ「帰還困難区域に関する政府方針を踏まえた今後の取組について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶帰還に向けた課題・帰還の条件 ▶両竹・浜野地区に関する考え方 ▶復興拠点での事業再開 ▶復興拠点外の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・原発の廃炉、放射線量の正確な情報公開が必要である。 ・帰還の一番の条件は病院である。ドクターヘリの導入も必要である。 ・上下水道整備が必要であり、下水処理は新たな浄化センターが必要ではないか。 ・人が集まる環境づくりが必要である。 ・商業支援、事業再開の補助金手続きの簡素化。規制緩和。 ・宿舎、下宿、宿泊施設の設置を認めていただきたい。 ・両竹・浜野地区のきずなが崩れていくことが心配である。 ・両竹・浜野地区単体ではなく、駅西の開発と一緒にないと帰還できないのではないか。 ・農業再開についての支援、税制などの優遇も必要ではないか。 ・火葬場が必要ではないか。 ・農業のための水源確保が必要である。 ・神社仏閣など各地区の文化財は残こすべきである。 ・宿泊施設には「せんだん温泉」を活用できないか。

※詳細については、各回報告書のとおりです。

